

令和6年度 教科年間計画

教科	国語	1年	使用	【教科書】標準 現代の国語（第一学習社）
科目	現代の国語	2単位	教材	【副教材】常用漢字の標準演習 改訂版

科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する・資質能力を育成する。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わるの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わるの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わるの中で伝え合う力を高めることができる。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的に 学習に取り 組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画（評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度）

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
思考力・判断力を培う	なぜ本を読むのか	4	○	読	○	・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・文章の論理展開を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って具体的に考えようとしている。	小テスト 振り返りシート
	言葉とアイデンティティ	3	○	書	○	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・「書くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・文章の論理展開を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って具体的に考えようとしている。	小テスト 振り返りシート
	話し方の工夫 待遇表現	4	○	話聞	○	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、話の構成や展開を工夫している。 ・相手にわかるような発表のしかたについて粘り強く検討し、今までの学習を活かして、多様な観点で表現を工夫しようとしている。	ワークシート 振り返りシート
	言語としてのピクトグラム	5	○	書	○	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 - 積極的に写真を伴う文章を読み、解釈したことをまとめて発表しようとしている。	ワークシート 振り返りシート

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
	水の東西	4	○	読	○	・個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	小テスト 振り返りシート
	論理的な表現	4	○	書	○	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方を考えるとともに、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 ・解説内容を粘り強く理解し、論証の仕方について学習課題に沿って考えようとしている。	ワークシート 振り返りシート
	情報の探索と選択 情報源の明示	5	○	話聞	○	・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・課題資料が示す内容と身の回りの問題を積極的に関連付け、学習課題に沿って適切な解決策を考えようとしている。	ワークシート 振り返りシート
	「弱いロボット」の誕生	4	○	書	○	・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・解説内容を粘り強く理解し、論証の仕方について学習課題に沿って考えようとしている。	小テスト 振り返りシート
前期期末考査		1	○	読			
	スピーチで自分を伝える	4	○	話聞	○	・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫している。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を活かして効果的に話そうとしている。	ワークシート 発表 振り返りシート

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
	人はなぜ仕事をするのか	4	○	書	○	- 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 - 積極的に比喻や例示の効果を理解し、読み取ったことを説明しようとしている。	小テスト 振り返りシート
	「間」の感覚	3	○	書	○	- 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 「書くこと」において、説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 - 対比させながら展開する評論を粘り強く読み、論理の展開を分析しようとしている。	小テスト 振り返りシート
	相手に伝わる案内をする	4	○	話聞	○	- 話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 - 協働して資料や機器を用いて、相手の理解を得られる工夫をしようとしている。	ワークシート 発表 振り返りシート
	書き方の基礎レッスン 実用的な手紙文の書き方	3	○	書	○	- 書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解を深めている。 「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 - 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身に付けようとしている。	ワークシート 振り返りシート

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
	黄色い花束	3	○	書	○	・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるときともに、表現の仕方を工夫している。 ・戦争や紛争について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。	小テスト 振り返りシート
	日本語は世界をこのように捉える	4	○	書	○	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・「書くこと」において、説明の仕方考えるときともに、表現の仕方を工夫している。 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	小テスト 振り返りシート
	合意形成のための話し合いを行う	5	○	話聞	○	・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、使っている。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫している。 ・実生活における合意形成のための話し合いの重要性を理解し、積極的に話し合いの進め方を理解しようとしている。	ワークシート 発表 振り返りシート
	社会に対する意見文を書く	5	○	書	○	・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、使っている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・目的に応じてテーマを決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。	ワークシート 振り返りシート
学年末考査		1	○	読			
合計		70	話・聞：22 書：38 読：10				

令和6年度 教科年間計画

教科	国語	1年	使用	【教科書】新編 言語文化（数研出版）
科目	言語文化	2単位	教材	【副教材】重要古文単語、完全マスター古典文法

科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する・資質能力を育成する。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A（十分満足できる）	B（おおむね満足できる）	C（努力を要する）
①知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わるの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わるの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わるの中で伝え合う力を高めることができている。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的に 学習に取り 組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知:知識・技能 思:思考力・判断力・表現力 主:主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
「地域」のことば	とんかつ	4	○	読	○	文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができている。 積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	小テスト 振り返りシート
「古文の世界」を楽しむ	古典文法 宇治拾遺物語	8	○	読	○	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 本文を通釈したうえで積極的に慣用句の意味用法を調べ、学習課題に沿ってオリジナルの短文を作ろうとしている。	小テスト 振り返りシート
受け継がれる古典	羅生門	7	○	読	○	文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができている。 積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	小テスト 振り返りシート
詩歌を味わう	俳句 短歌	3	○	書	○	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 学習課題に沿って、粘り強く鑑賞文の作成に取り組もうとしている。	作品提出 振り返りシート
日本語の中に生きる漢文	訓読のきまり 格言	8	○	読	○	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。	小テスト 振り返りシート

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
前期期末考查		1	○	読			
「ことば」 を吟味する	舟を編む	4	○	読	○	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って考察しようとしている。	小テスト 振り返りシート
現代にも生きる教え	古典文法 徒然草	10	○	読	○	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 和歌に込められた心情を粘り強く解釈し、学習課題に沿ってそれを現代語の短歌に書き直そうとしている。	小テスト 振り返りシート
語感を磨く	側転と三夏	5	○	読	○	文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができている。 進んで題名の意味を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加することができている。	小テスト 振り返りシート
和歌が作り出す世界/	万葉集・古今和歌集・ 新古今和歌集	2	○	書	○	本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 好きな和歌について積極的に調べ、学習課題に沿って紹介文を書こうとしている。	作品提出 振り返りシート
「故事と成語」	助長 漁夫の利 虎の威を借る狐	5	○	読	○	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。	小テスト 振り返りシート

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法	
			知	思	主			
漢詩を味わう	春暁 江雪 送元二使安西 春望	4	○	読	○	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 日本で書かれた漢詩を調べて発表する活動において、粘り強く課題に取り組んでいる。	小テスト 振り返りシート	
学年末考査		1	○	読				
昔と変わらない人の心	古典文法 伊勢物語	8	○	読	○	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 和歌に込められた心情を粘り強く解釈し、学習課題に沿ってそれを現代語の短歌に書き直そうとしている。	小テスト 振り返りシート	
合計		70	現・読：22 古・読：43 書：5					

令和6年度 教科年間計画

教科	地理歴史	1 年	使用 教材	【教科書】地理総合 世界に学び地域へつなぐ（二宮書店）
科目	地理総合	2 単位		【副教材】高等地図帳（二宮書店） 地理総合ワークブック（二宮書店）

科目の目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・ 技能	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを十分に理解するとともに、地図やGISなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切に収集し、効果的にまとめる技能を身に付けているか。	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを十分に理解するとともに、地図やGISなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切に収集し、効果的にまとめる技能を身に付けている。	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図やGISなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを筋道を立てて説明したり、それらを基に議論したりする力を養っているか。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを筋道を立てて説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的 に学習に 取り組む 態度	よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚を深められているか。	よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚を深められている。	よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚を深められている。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画（評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度）

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
球面上の世界	位置の基準 時間の基準	2	○			地球上の位置情報の基礎として、緯度・経度の基本的なしくみ、地球上での位置の示し方を理解し、時差計算の技能を身につけているか、	単元テスト① プリント
日本の位置と領域	日本の位置	1		○		地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用仕方などを多面的・多角的に考察し、表現できているか。	単元テスト① プリント
	国家と領域 日本の領域 日本の領域に関する問題	2		○	○	現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現できているか。	単元テスト① プリント
単元テスト①		1	○	○			
国家間の結びつき	国家間の結びつき	1		○		現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現できているか	単元テスト② プリント
	交通・通信による結びつき 貿易・物流による結びつき 観光による結びつき	2		○		現代世界の地域構成について、交通・通信・貿易・観光などに着目して、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現できているか。	単元テスト② プリント
単元テスト②		1	○	○			
地図とGIS	身の回りの地図	1	○			日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解できているか。	単元テスト③ プリント
	地理院地図の活用 地図・GISのしくみと役割	2	○			現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けているか。	単元テスト③ プリント
地形と生活文化	変動帯とプレート 河川がつくる地形と生活 海岸の地形と生活	3	○			人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解しているか。	単元テスト③ プリント
単元テスト③		1	○	○			
気候と生活文化	大気循環 気候の地域性 ケッペンの気候区分	2	○		○	世界の生活文化や環境の多様性、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養	単元テスト④ プリント

					うとともに、日本を含む世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようと自覚を深められているか。	
	熱帯の自然環境 乾燥帯の自然環境 温帯の自然環境 亜寒帯・寒帯の自然環境	4	○	○	世界の生活文化や環境の多様性、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 地理に関わる事象の特色や相互の関連を、地域などに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	単元テスト④プリント
単元テスト④		1	○	○		
産業と生活文化	農業の発展 工業の発展 商業・サービス業	3	○		○ 世界の生活文化や環境の多様性、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本を含む世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようと自覚を深められているか。	単元テスト⑤プリント
宗教・言語と生活文化	宗教の分布 言語の分布 移民と難民 生活文化の多様性	3	○		○ 世界の生活文化や環境の多様性、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本を含む世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようと自覚を深められているか。	単元テスト⑤プリント
単元テスト⑤		1	○	○		
前期期末考査		1	○	○	○ 単元テスト①～⑤のまとめ	
1日防災学校		3	○		○ 日本の自然環境と防災 風水害と防災 より	9月上旬

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
各地域の生活文化と地理的環境	自然（南アジア、アフリカ、ロシア）	3	○	○	○	世界の生活文化や環境の多様性、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 地理に関わる事象の特色や相互の関連を、地域などに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	単元テスト⑥プリント
	社会（ASEAN諸国、イスラーム圏）	2	○	○	○		単元テスト⑦プリント

	経済（東アジア、EU、 アングロアメリカ）	3	○	○	○	課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本を含む世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする自覚を深められているか。	単元テスト⑧ プリント
	開発（ラテンアメリカ、 オセアニア）	2	○	○	○		単元テスト⑧ プリント
	単元テスト⑥	1	○	○		自然（南アジア、アフリカ、ロシア）	
	単元テスト⑦	1	○	○		社会（ASEAN諸国、イスラーム圏）	
	単元テスト⑧	1	○	○		経済（東アジア、EU、アングロアメリカ） 開発（ラテンアメリカ、オセアニア）	
地球環境問題	環境問題と持続可能な社会 国境を越える汚染 森林減少・砂漠化と対策 気候変動と対策	3	○	○		世界の生活文化や環境の多様性、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 地理に関わる事象の特色や相互の関連を、地域などに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	単元テスト⑨ プリント
資源・エネルギー問題	鉱物・エネルギー資源 リサイクルと再生可能エネルギー	2	○		○	世界の生活文化や環境の多様性、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本を含む世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする自覚を深められているか。	単元テスト⑨ プリント
	単元テスト⑨	1	○	○			
人口・食料問題	人口と人口問題 世界各地の人口問題 2つの食糧問題 食料問題の背景と解決策	3		○	○	地理に関わる事象の特色や相互の関連を、地域などに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。 課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本を含む世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする自覚を深められているか。	単元テスト⑩ プリント
居住・都市問題	発達する都市 都市への人口集中 居住・都市問題	3		○	○	地理に関わる事象の特色や相互の関連を、地域などに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。 課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本を含む世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする自覚を深められているか。	単元テスト⑩ プリント
日本の	世界地図でとらえる自然災	1	○		○	世界の生活文化や環境の多様性、防災、地域や地球	単元テスト

自然環境と防災	害のリスク					的課題への取組などを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本を含む世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようと自覚を深められているか。	ト⑩ プリント
単元テスト⑩		1	○	○			
	日本の地形の特色 日本の気候の特色	2	○		○	世界の生活文化や環境の多様性、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本を含む世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようと自覚を深められているか。	単元テスト⑩ プリント
	風水害と防災 火山噴火と防災 地震・津波と防災 都市型災害と防災 防災への心構え	3	○	○		世界の生活文化や環境の多様性、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 地理に関わる事象の特色や相互の関連を、地域などに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	単元テスト⑩ プリント
生活圏の諸課題	主題図からみた日本の特徴と課題	1	○	○		世界の生活文化や環境の多様性、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 地理に関わる事象の特色や相互の関連を、地域などに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	単元テスト⑩ プリント
単元テスト⑪		1	○	○			
学年末考査		1	○	○	○	単元テスト⑥～⑪のまとめ	
時数合計		70					

令和6年度 教科年間計画

教科	公民	1年	使用 教材	【教科書】高等学校 公共（帝国書院）
科目	公共	2単位		【副教材】高等学校 公共ノート（帝国書院） テーマ別資料 公共 2024（とうほう）

科目の目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A（十分満足できる）	B（おおむね満足できる）	C（努力を要する）
①知識 ・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切に収集し、効果的にまとめる技能を身に付けているか。	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切に収集し、効果的にまとめる技能を身に付けている。	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を調べまとめる技能を身に付けている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養っているか。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養っている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に考察し公正に判断する力や、構想したことを議論する力を養っている。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的 に学習に 取り組む 態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められている。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められている。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画（評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度）

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
青年期 と社会 参画	私たちの生きる現代社会 青年期について 悩むことについて	3	○			自らの体験などを振り返るを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解しているか。	単元テスト① プリント
	ジェンダーについて 学ぶことについて	2	○			人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解しているか。	単元テスト① プリント
	社会参画とキャリアについて	1	○	○		自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解しているか。 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現しているか。	単元テスト① プリント
単元テスト①		1	○	○			
宗教・ 思想・ 伝統文 化	宗教について 日本の思想 日本の伝統と文化	2	○			人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解しているか。	単元テスト② プリント
	公共空間とは	1		○		社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現しているか。	単元テスト② プリント
単元テスト②		1	○	○			

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
倫理的な見方・考え方	古代ギリシャ 古代中国 近代西洋	3	○		○	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から必要な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人権や主権、平和を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。	単元テスト③ プリント
	公平と正義	1		○		現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養っているか。	単元テスト③ プリント
単元テスト③		1	○	○			
社会の基本原則と憲法	近代律法主義の原理 近代律法主義の広がり 日本国憲法 平等権 自由権 生存権	6	○		○	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から必要な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人権や主権、平和を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。	単元テスト④ プリント
	広がる人権の考え方 人権保障の国際的な広がり	2		○		現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養っているか。	単元テスト④ プリント
単元テスト④		1	○	○			
法の意義と司法参加	社会規範と法 私たちの生活と法 契約の考え方 消費者の権利と責任 司法の役割	5	○		○	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から必要な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人権や主権、平和を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。	単元テスト⑤ プリント

	刑事裁判と課題	1		○		現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養っているか。	単元テスト⑤ プリント
単元テスト⑤		1	○	○			
民主社会と政治参加	政治と権力 議院内閣制と国会 権力分立と行政の役割 地方自治の役割 政党政治とメディア	6	○		○	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から必要な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人権や主権、平和を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。	単元テスト⑥ プリント
	選挙制度と課題	2		○		現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養っているか。	単元テスト⑥ プリント
単元テスト⑥		1	○	○			
国際政治と平和追及	国家と国際法 日本の主権と領土 平和主義と防衛政策 日本の安全保障 国際連合の役割と活動 紛争とテロリズム	6	○		○	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から必要な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人権や主権、平和を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。	単元テスト⑦ プリント
	核兵器と軍縮の課題 国際協力と日本の役割	2		○		現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養っているか。	単元テスト⑦ プリント
単元テスト⑦		1	○	○			

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
市場経済のしくみ	経済とその考え方 市場のメリットと限界 企業の目的と役割 金融の役割 政府の役割と財政の機能	5	○		○	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から必要な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人権や主権、平和を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。	単元テスト⑧ プリント
	日本経済の課題 経済の変動	2		○		現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養っているか。	単元テスト⑧ プリント
単元テスト⑧		1	○	○			
豊かな社会の実現	産業構造の変化 中小企業と農業 労働者の権利	3	○		○	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から必要な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人権や主権、平和を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。	単元テスト⑨ プリント
	雇用と労働の課題 社会保障の役割と意義 社会保障制度の課題	2		○		現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養っているか。	単元テスト⑨ プリント
単元テスト⑨		1	○	○			
国際経済と格差是正	国際経済のしくみ 国際経済の枠組み 地域経済統合 グローバル化と自由貿易協定	3	○		○	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から必要な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人権や主権、平和を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。	単元テスト⑩ プリント
	国際経済の変化と課題 経済格差の是正	2		○		現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養っているか。	単元テスト⑩ プリント
単元テスト⑩		1	○	○			

時数合計	70	
------	----	--

令和6年度 教科年間計画

教科	数学	1 年	使用 教材	【教科書】最新 数学 I（数研出版）
科目	数学 I	3単位		【副教材】3ROUND 数学 I + A（数研出版）

【科目の目標】

数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【評価の観点】

評価の観点		観点別学習状況の評価基準		
		A（十分満足できる）	B（おおむね満足できる）	C（努力を要する）
①知識・技能	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。	命題の条件や結論に着目し、数や式を目的に応じて適切に変形する力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決する力を身に付けている。	左側の求められる基準に達していない。

③主体的 に学習に 取り組む 態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。	左側の求められる基準に達していない。
----------------------------	--	---	---	--------------------

授業計画（評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度）

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
数と式	多項式 多項式の加法・減法・乗法	3	○			- 式についての用語の意味を理解し、多項式を整理することができる。(知) - 多項式の加法・減法、指数法則、単項式の乗法について理解し、さらに分配法則を用いて式を展開することができる。(知)	小テスト
	展開の公式 式の展開の工夫	5	○	○		- 展開の公式について理解し、展開の公式を用いて式を展開することができる。(知) - 複雑な式の展開について、式の工夫の仕方を判断して式を展開することができる。(思)	小テスト グループ学習
	因数分解 いろいろな因数分解	8	○	○	○	- 分配法則や展開の公式を逆に用いて因数分解することについて理解し、式を因数分解することができる。(知) - 複雑な式について、見通しをもって因数分解の公式に帰着することができる。(思) - 式の特徴に着目して複雑な式の因数分解に取り組もうとしている。(主)	小テスト グループ学習 レポート提出
	実数 根号を含む式の計算	6	○		○	- 実数が四則演算に関して閉じていることを理解するとともに、簡単な無理数の四則計算をすることができる。(知) - 今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとしている。(主)	小テスト レポート提出
	不等式 不等式の性質	3	○	○		- 不等式の意味とその性質について理解している。(知) - 不等式の性質を数直線上の点と対応させて考察することができる。(思)	小テスト
	1次不等式の解き方 連立不等式 不等式の利用	5	○		○	- 不等式の性質を理解して、1次不等式や連立不等式を解くことができる。(知) - 身近な問題を解決することに不等式を活用しようとしている。(主)	小テスト グループ学習

集合と 命題	集合と部分集合 共通部分, 和集合, 補集合	2	○	○	○	- 集合の表し方や用語を, 図を用いて理解し, 記号を使って表すことができる。(知) - ベン図などを用いて, 集合を視覚的に表現して考察することができる。(思) - 集合について, それぞれの特徴や関係にあった表現方法を考察しようとしている。(主)	小テスト グループ 学習 ノート提出
	命題と集合 命題と証明	5	○	○	○	- 命題や条件, 必要条件, 十分条件の意味を理解している。(知) - 命題の逆, 裏, 対偶について, 基礎的な知識を身に付けている。(知) - 集合の包含関係に関連付けて, 命題の真偽を考察したり対偶や背理法を用いて命題を証明したりすることができる。(思) - 直接証明法では難しい命題も, 対偶や背理法を用いれば証明できることに関心をもとうとしている。(主)	小テスト グループ 学習 レポート提出
考查または単元テスト		1	○	○			
2次 関数	関数 関数とグラフ	8	○	○	○	2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解している。(知) 2次関数のグラフの特徴を考察することができる。(思) - 関数が与えられたとき, 式を適切に変形し, グラフをかこうとしている。(主)	小テスト レポート 提出
	最大・最小	5	○	○		2次関数の最大値, 最小値を求めることができる。(知) 2次関数が最大値, 最小値をもつことを, グラフを使って考察することができる。(思)	小テスト
	2次関数の決定	3	○		○	- 与えられた条件を関数の式に表現し, 2次関数を決定することができる。(知) 2次関数の決定条件について関心をもち, 考察しようとしている。(主)	小テスト レポート 提出
	2次方程式 2次関数のグラフと x 軸の共有点	5	○	○		2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。(知) 2次方程式が実数解や重解を持つための条件を式で表現することができる。(思)	小テスト グループ 学習
	2次不等式 2次不等式の利用	6	○		○	2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。(知) - 身近な問題を解決することに2次不等式を活用しようとしている。(主)	小テスト グループ 学習
単元テスト		1	○	○			

図形と計量	鋭角の三角比 三角比の利用 三角比の相互関係	6	○		○	- 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解し、三角比を使って距離や高さを求めることができる。(知) - 直接図ることができない距離などの求め方を考えようとし、具体的な事象を三角比の問題として考察しようとしている。(主)	小テスト グループ学習 レポート提出
	三角比の拡張 三角比が与えられたときの角	4	○	○	○	- 鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 - 座標を用いた鈍角の三角比の定義を理解している。(思) θの三角比が与えられたときにθを求める際、図を積極的に利用しようとする。(主)	小テスト グループ学習 レポート提出
	正弦定理 余弦定理 三角形の面積	6	○	○		- 正弦定理を用いて三角形の外接円の半径や辺の長さを求めることができる。(知) - 余弦定理を用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。(知) - 三角比と三角形の面積の関係を考察することができる。(思)	小テスト グループ学習 レポート提出
	図形の計量	6		○	○	- 正弦定理や余弦定理を用いて、測量の問題を解決することができる。(思) - 日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとしている。(主)	小テスト グループ学習
考查または単元テスト		1	○	○			
データの分析	データの整理 データの代表値	3	○		○	- 平均値や最頻値、中央値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。(知) - 度数分布表を用いてデータを整理し、全体の傾向を考察しようとしている。(主)	小テスト レポート提出
	データの散らばり	6	○	○	○	- 四分位数、四分位範囲や分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、値を求めることができる。(知) - 箱ひげ図をかき、データの分布を比較することができる。(思) - データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察しようとしている。(主)	小テスト グループ学習 レポート提出
	データの相関 相関係数 分割表 仮説検定の考え方	6	○	○		- 相関係数の定義とその意味を理解し、定義に従って値を求めることができる。(知) - 散布図や相関表を作成し、2つの変量の間の相関を考察することができる。(思)	小テスト レポート提出
単元テスト		1	○	○			
合計		105					

令和6年度 教科年間計画

教科	数学	1年	使用	【教科書】最新 数学 A (数研出版)
科目	数学 A	2単位	教材	【副教材】3ROUND 数学 I + A (数研出版)

【科目の目標】

図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【評価の観点】

評価の観点		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、数学と人間の活動の関係について認識を深めている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を身に付けている。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだす力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだす力を身に付けている。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画（評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度）

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
場合の数	集合 集合の要素の個数	4	○	○		- 集合に関する用語を理解し、それらを求めることができる。(知) - 要素を書き並べて表したり、補集合や和集合の要素の個数の公式を用いたりして要素の個数を求めることができる。(知) - ベン図を利用して集合を図示することで、要素の個数を考察することができる。(思)	小テスト グループ学習
	樹形図, 和の法則, 積の法則	2		○	○	- 場合の数を数える適切な方針を考察することができる。(思) 1つの原則を決めて、樹形図などを利用して、もれなく重複することなく数えようとしている。(主)	小テスト グループ学習 レポート提出
	順列	2	○	○		- 順列の用語, 記号, 公式を理解し, 計算することができる。(知) - 積の法則から順列の公式を考察することができる。(思)	小テスト グループ学習
	円順列と重複順列	2	○	○	○	- 円順列や重複順列の用語, 公式を理解し, 計算することができる。(知) - 既知の順列や積の法則をもとにして, 円順列や重複順列を考察することができる。(思) - 順列, 円順列, 重複順列の違いについて関心をもとうとしている。(主)	小テスト グループ学習 レポート提出
	組合せ	4	○	○		- 組合せの用語, 記号, 公式を理解し, 計算することができる。(知) - 順列の総数をもとにして, 組合せの総数を考察することができる。(思) - 同じ物を含む順列を, 組合せで考察することができる。(思)	小テスト グループ学習
単元テスト		1	○	○			
確率	確率の意味 確率の計算	2	○	○	○	- 確率の意味を理解し, 事象を集合で表したり, 事象の確率を求めたりすることができる。(知) - 同様に確からしいことを利用して, 事象の確率の考え方を説明することができる。(思) - 身近な試行によって起こる事象と関連付けながら, 実験などを通じて確率に関心をもとうとしている。(主)	グループ学習 レポート提出

	確率の基本性質	2		○		・積事象，和事象，排反，空事象，確率の基本性質を集合と関連付けて考察することができる。(思)	レポート提出
	和事象の確率 余事象の確率	3	○	○	○	・確率の加法定理を用いて，確率を求めることができる。(知) ・補集合をもとに，余事象を考察することができる。(思) ・余事象を用いて確率を求めることのよさに気づき，余事象を積極的に活用しようとしている。(主)	小テスト グループ 学習 レポート 提出
	独立な試行の確率	1	○	○		・独立な試行の意味を理解している。(知) ・2つの独立な試行を行うとき，その結果として起こる事象の確率について考察することができる。(思)	小テスト グループ 学習
	反復試行の確率	2	○	○	○	・反復試行の確率について理解し，反復試行の確率を求めることができる。(知) ・反復試行の確率について，組合せの考え方と関連させて考察することができる。(思) ・具体的な事象について，反復試行の確率を，興味をもって調べようとしている。(主)	小テスト グループ 学習 レポート 提出
	条件付き確率	2	○			・条件付き確率の意味と確率の乗法公式を理解し，条件付き確率を求めることができる。(知)	小テスト レポート 提出
	期待値	2	○	○		・期待値について理解し，確率の性質などに基づいて期待値を求めることができる。(知) ・期待値を具体的な問題の意思決定に活用することができる。(思)	小テスト グループ 学習 レポート 提出
考查または単元テスト		1	○	○			
図形の 性質	角の二等分線と比	3	○			・三角形の内角の二等分線と比，外角の二等分線の比などについて理解し，それらを用いて線分の長さを求めたり，数直線上の内分点，外分点の座標を求めたりすることができる。(知)	小テスト グループ 学習
	三角形の外心・内心・重心	3	○	○		・三角形の外心・内心・重心の性質を利用して，角の大きさや線分の長さを求めることができる。(知) ・図形の性質を証明するのに，間接的な証明法で示すことができる。(思)	小テスト グループ 学習 レポート 提出

チェバの定理・メネラウスの定理	3	○		○	・チェバの定理、メネラウスの定理を利用していろいろな辺の長さや比を求めることができる。(知) ・証明方法に関心をもとうとしている。(主)	小テスト グループ 学習 レポート 提出
円周角の定理 円に内接する四角形	3	○	○		・中学で学んだ円周角の定理やその逆、円に内接する四角形について理解し、それらを利用して、角の大きさを求めることができる。(知) ・円に内接する四角形について、円周角の定理を利用して考察することができる。(思)	小テスト グループ 学習 ノート確 認
円と接線 接線と弦の作る角	4	○	○	○	・円の接線の性質を用いて、辺や線分の長さを求めることができる。(知) ・接弦定理を利用して、角の大きさを求めることができる。(知) ・接弦定理の証明について、円周角の定理を利用して示そうとしている。(主)	小テスト グループ 学習 レポート 提出
方べきの定理	2	○	○		・方べきの定理を利用して、線分の長さを求めることができる。(知) ・方べきの定理は、円周角の定理や円に内接する四角形の性質を用いて証明することを理解している。(思)	小テスト グループ 学習 ノート確 認
2つの円	2	○		○	・2つの円の位置関係に5つの場合があることを理解している。(知) ・2つの円の位置関係の判定条件として、中心間の距離と半径の関係について考察しようとしている。(主)	小テスト グループ 学習 レポート 提出
空間における直線と平面	2	○	○	○	・空間における2直線・2平面の位置関係やなす角について理解し、それらの問題を処理することができる。(知) ・直線と平面の位置関係について理解し、問題を処理することができる。(知) ・空間における図形の位置関係について考察しようとしている。(主)	小テスト グループ 学習 レポート 提出
多面体	2	○		○	・5種類の正多面体の特徴を理解し、それに基づいて面、頂点、辺の数を求めることができる。(知) ・どんな多面体にもオイラーの多面体定理が成り立つか調べようとしている。(主)	小テスト グループ 学習 レポート 提出
考查または単元テスト	1	○	○			

数学と人間の活動	約数と倍数	1	○		○	・約数と倍数の意味を理解している。(知) ・日常生活における具体的な事象の考察に、約数と倍数の考えを活用しようとしている。(主)	小テスト レポート 提出
	素数と素因数分解	1	○			・自然数の素因数分解を求めることができる。(知)	グループ 学習
	整数の割り算	1		○	○	・問題解決の過程を振り返って、割り算の余りの性質について考察することができる。(思) ・カレンダーの話題を通じて、日常に関連した法則や規則を、数学を用いて捉えることに興味をもとうとしている。(主)	小テスト レポート 提出
	最大公約数	1	○	○		・公約数、最大公約数の意味を理解し、それらを求めることができる。(知) ・互いに素の意味を理解し、2つの整数が互いに素であるかどうか判断したりすることができる。(思)	小テスト グループ 学習
	ユークリッドの互除法	2	○		○	・互除法の原理を理解し、互除法を用いて2数の最大公約数を求めることができる。(知) ・互除法の原理の証明に関心をもとうとしている。(主)	小テスト グループ 学習
	1次不定方程式	3	○	○		・1次不定方程式の特殊解を求め、その解を用いて全ての整数解を求めることができる。(知) ・互除法の計算を逆にたどることにより、1次不定方程式の整数解の1つが必ず見つかることを理解している。(思)	小テスト
	記数法	1	○			・10進法、2進法、n進法について理解し、n進法の整数を10進法で、10進法の整数をn進法で表すことができる。(知)	小テスト グループ 学習
	座標の考え方	1	○		○	・座標の考え方を理解し、平面上の点における考え方を座標空間まで広げて考えることができる。(知) ・平面上の点の位置に関する問題を、座標平面上で代数的に解決するよさを知ろうとしている。(主)	グループ 学習 レポート 提出
	ゲームの中の数学 パズルの中の数学	3		○	○	・ゲームの設定やパズルの仕組みを論理的に考察することができる。(思) ・ゲームの必勝法に関心を持とうとしている。(主)	グループ 学習 レポート 提出
単元テスト		1	○	○			
合計		70					

令和6年度 教科年間計画

教科	理科	1年	使用	【教科書】 東京書籍 新編 化学基礎
科目	化学基礎	3単位	教材	【副教材】 東京書籍 新編 ニューサポート

科目の目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・ 技能	物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けているか。	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	基準に達していない
②思考力 判断力 表現力	見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究できているか。	物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。	見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。	基準に達していない
③主体的に 学習に取り 組む態度	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	基準に達していない

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
化学とは何か	・化学とは何か	2	○	○	○	- 身のまわりの物や製品について、話し合いながらそれらはどんな物質でできているという視点で考えている。(主) - 物質の性質をもとに、分離の方法を考えることができる。(思) - 身の回りの多くの物質が、化学変化を利用していることを理解している。(知)	- ワーク - 実験 - 単元テスト
物質の成分と構成元素	1節 物質の成分	4	○	○		- 混合物から純物質を分離する方法を理解している。混合物に含まれる成分を、性質の違いによって分離する方法を理解している。(知) - 色素を分離する実験について、色素のどのような性質によって分離されたかを科学的に考察している。(思)	- ワーク - 実験 - 単元テスト
	2節 物質の構成元素	4	○	○	○	- 炎色反応や沈殿の生成で、元素の種類を確認できることを理解している。元素の同素体について、違いについて科学的に説明できる。(知) - 炎色反応の色から水溶液に含まれる元素を科学的に考察している。(思) - 炎色反応の実験を行い、元素の種類を推測するなど科学的に考察しようとしている。(主)	- ワーク - 実験 - 単元テスト
	3節 物質の三態	4	○	○	○	- 状態変化には粒子の熱運動が関係していることを理解している。(知) - 実験の過程を観察し、状態変化に伴う変化を捉えようとしている。また、粒運動と物質の三態変化を探究し、これらの関係性を見いだして表現している。(思) - この章で身につけたことを共有して自己評価する。(主)	- ワーク - 実験 - 単元テスト
原子の構造と元素の周期表	1節 原子の構造	2	○	○		- 原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解している。(知) - 放射性同位体同位体について、話し合いながらそれらは身のまわりでどのように使われているという視点で考えようとしている。(思)	- ワーク - 実験 - 単元テスト
	2節 電子配置と周期表	4	○	○	○	- 代表的な典型元素の電子配置について理解している。元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族と周期都の関係について理解している。(知) - アルカリ金属の性質を観察し、同族元素について性質を見通し、関係性を表現している。元素の周期律について規則性を見いだして表現している。元素の性質について考察する。(思) - この章で身につけたことを共有して自己評価する。(主)	- ワーク - 実験 - 単元テスト

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
化 学 結 合	1節 イオンとイオン結合	5	○	○	○	・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解している。イオン結合およびイオン結晶の性質を理解している。(知) ・元素の周期律とイオン化エネルギーの関係性を見だし表現できる。(思) ・イオン結晶についての実験を行い、イオン結晶やイオンの性質について考察しようとしている。(主)	・ワーク ・実験 ・単元テスト
	2節 分子と共有結合	6	○	○		・共有結合を電子配置と関連付けて理解している。分子からなる物質の性質を理解している。(知) ・物質の極性と溶解性の関係性を予想し、実験を通じて関係性を見だし表現できる。(思)	・ワーク ・実験 ・単元テスト
	3節 金属と金属結合	2	○			・金属の性質及び金属結合を理解している。(知) ・金属とその用途について、話し合いながらそれらは身のまわりでどのように使われているという視点で考えようとしている。(思)	・ワーク ・実験 ・単元テスト
	4節 化学結合と物質の分類	3		○	○	・化学結合と物質の分類について、話し合いながら規則性や関係性を解釈して表現しようという視点で考えようとしている。(思) ・この章で身につけたことを共有して自己評価する。(主)	・ワーク ・実験 ・単元テスト
	前期期末考查	1					
物 質 量 と 化 学 反 応 式	1節 原子量・分子量・式量	4	○			・相対質量と原子量を理解している。(知)	・ワーク ・単元テスト
	2節 物質量	4	○	○		・物質量と粒子、質量、気体の体積の関係について理解している。(知) ・物質量と粒子、質量、気体の体積について、話し合いながら見通しをもって観察し、得られた結果を分析している。(思)	・ワーク ・実験 ・単元テスト
	3節 溶液の濃度	4	○	○		・モル濃度について理解している。(知) ・水溶液の調整について、話し合いながら確認し、観察し、得られた結果を分析している。(思)	・ワーク ・単元テスト
	4節 化学反応の表し方	3	○			・化学反応式やイオン反応式について理解している。(知)	・ワーク ・単元テスト
	5節 化学反応式の表す量的関係	3	○	○	○	・化学反応式が化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを見だして理解している。(知) ・化学反応における量的関係についての実験を行い、化学反応式の係数が物質量の比を表していることを見出そうとしている。(主) ・実験から、物質量の比が化学反応式の比を表していることを見だしている。(思) ・この章で身につけたことを共有して自己評価する。(主)	・ワーク ・実験 ・単元テスト

酸と塩基	1節 酸と塩基	5	○	○		・酸と塩基の性質及び定義を理解する。(知) ・酸と塩基の強弱と電離度の関係性を予想し、実験を通じ関係性を見だし表現できる。(思)	・ワーク ・実験 ・単元テスト
	2節 水素イオン濃度とpH	5	○	○		・水溶液の酸性・塩基性は、水素イオン濃度やpHで表せることを理解している。(知) ・pH指示薬について理解している。(知) ・身近な物質のpHを測定し、考察しようとしている。(思)	・ワーク ・実験 ・単元テスト
	3節 中和反応と塩の生成	5	○	○		・酸と塩基が完全に中和するときの化学反応式及び塩の水溶液について理解している。(知) ・身近なまわりの物質のpHを測定し、様々な比較を加えて考えようとしている。(思)	・ワーク ・実験 ・単元テスト
	4節 中和反応	7	○	○	○	・酸と塩基の中和反応に関与する物質の量的関係について理解している。(知) ・中和滴定操作における基本的な技術を習得するとともに、実験などを通じて結果を分析し解釈することができる。(思) ・中和滴定の実験を行い、正しく器具を使い、考察をしようとしている。(主)	・ワーク ・実験 ・単元テスト
単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
酸化還元反応	1節 酸化と還元	5	○	○		・酸化と還元が電子の授受によることを理解している。(知) ・酸化と還元の定義について、話し合いながら確認し、酸化数の増減について見いだす活動を行っている。(思)	・ワーク ・実験 ・単元テスト
	2節 酸化剤と還元剤	5	○	○	○	・酸化還元反応式を理解する。(知) ・酸化還元滴定操作における基本的な技術を習得し、実験を通じて結果を分析し解釈することができる。(思) ・酸化剤と還元剤の反応を調べる実験を行い、それぞれの結果を化学反応式で表すなど、科学的に考察を行おうとしている。(主)	・ワーク ・実験 ・単元テスト
	3節 金属の酸化還元反応	5	○	○		・金属イオン化傾向を理解している。(知) ・金属の陽イオンへのなりやすさを比較測定し、話考察する。(思)	・ワーク ・実験 ・単元テスト
	4節 酸化還元反応の応用	5	○	○		・電池の構造やしくみ及び金属の製錬について理解している。(知) ・電池について構造とその用途について、身のまわりでどのように使われているという視点で考えようとしている。(思)(主)	・ワーク ・実験 ・単元テスト
化学が拓く世界	終章 化学が拓く世界	7	○	○	○	・学んできた事が日常生活や科学技術と結びついていることを理解する。(知) ・日常生活や社会を支えている科学技術について、話し合い、その用途や社会課題に対する解決策などを様々な視点で考察している。(思)	・ワーク ・実験 ・単元テスト
学年末考查		1					
時数合計		105					

令和6年度 教科年間計画

教科	保健体育	1年	使用	【教科書】 現代高等保健体育
科目	体育	3単位	教材	【副教材】 現代高等保健体育ノート

科目の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

【評価の観点】授業計画

(評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

評価の観点 (重点項目には)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けることができた。	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全についておおむね理解するとともに、技能を身に付けることができた。	左記の求められる基準に達していない。
思考力 判断力 表現力	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができた。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力をおおむね養うことができた。	左記の求められる基準に達していない。
③主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができた。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度をおおむね養うことができた。	左記の求められる基準に達していない。

月	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
4	体づくり運動 (体ほぐしの運動) (体力を高める運動)	8				○集団行動や準備運動(ランニング・体操・ストレッチング)の意義を理解し意欲的に取り組んでいるか。(主) ○新体力テストを実施し、自分の体力的課題を認識し、解決に向けた具体的な方法を身につけられたか。(思) ○スポーツの歴史的発展と変容 ・スポーツの歴史について理解出来ているか。(知)	
	体育理論①	1	○	○	○		
5	器械運動 (マット・跳び箱) 運動	10	○		○	○技(前転、開脚前転、伸膝前転、後転、開脚後転、伸膝後転、倒立など)をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知) ○自分の動きを分析し、自身で課題解決に向けていく能力を高めることができたか。(主)	
6	ダンス	12	○	○		○表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や班で、対極の動きや空間の使い方を変化をつけて即興的に表現しながら踊ることができているか。(知) ○グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫することができているか。(思)	

7	陸上競技 (走り幅跳び、ハードル、走り高跳び)	9	○	○	○	○必要な個人技術を高めることができたか。(知) ○自身の体力や技術的課題に応じた目標を設定し、実行・評価を繰り返す中で解決しようとする能力を高められたか。 (主)	
8	球技 (バレーボール)	6	○	○		・個人技術 (サーブ、パスとレシーブ、トス、スパイク、ブロック等) をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(思・主)	
9	ソフトボール	11	○	○		・個人技術 (キャッチボール、バッティング等) の能力をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知) ・ソフトボールのルールを理解した上で、身につけた技能を活用し、状況に応じたゲームができるように工夫することができたか。(思)	
10	体育理論②	1	○			・スポーツの技術、戦術、ルールの変化、スポーツの技術、戦術、ルールは用具の改良やメディアの発達に伴い変わること理解できたか。(知)	
11	武道 (柔道)	12	○	○		・基本動作 (姿勢と組み方、進退動作、崩しと体さばき、受け身など) や投げ技 (膝車、体落とし、大腰、内股、大外刈りなど) 固め技 (袈裟固め、横四方固め、上四方固めなど) を身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知) ・身につけた技能を活用し、自分の特性を踏まえた上で、相手の安全を第一に考えながら約束練習ができるようになったか。(主)	
12	体育理論③	1	○			・オリンピックムーブメントとドーピング オリンピックムーブメントによる国際親善や世界平和への役割を理解することや、ドーピングによるスポーツの文化的価値の喪失について理解することができたか。(知)	
	球技 (バスケットボール)	11	○	○		・個人技術 (パス、ドリブル、シュート、フェイント、リバウンド等) をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。また集団技術 (速攻、マンツーマンディフェンス) をしっかりと理解し、それらの技能を高めることができたか。(知) ・身につけた技能を活用し、自己の課題の解決に向けて工夫したり、チーム内における自分の役割を果たせるように努めながらゲームに取り組む姿勢を持つことができたか。(主)	
1	軽スポーツ (バドミントン)	12	○	○		・個人技術 (ハイクリア、ドロップ・スマッシュ・ヘアピン等) 等の技術をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知) ・身につけた技能を活用し、自己の課題の解決に向けて工夫したり、ペアにおける自分の役割を果たせるように努めながらゲームに取り組む姿勢を持つことができたか。(主)	
	体育理論④	1	○			・スポーツの経済的効果とスポーツ産業 現代のスポーツにおける経済的な波及効果やスポーツ産業について理解を深めることができたか。(思)	
	後期末考査	1					
2	バレーボールリーグ戦	9	○	○		○身につけた技能を活用し、チーム内における自己の役割を果たせるよう努めながらゲームができるようになったか。 (思・主)	
3							
	時数合計	105					

令和6年度 教科年間計画

教科	保健体育	1年	使用	【教科書】 現代高等保健体育
科目	保健	1単位	教材	【副教材】 現代高等保健体育ノート

科目の目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

【評価の観点】授業計画

(評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

評価の観点 (重点項目には)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるか。	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、おおむね技能を身に付ける。	左記の求められる基準に達していない。
思考力 判断力 表現力	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っているか。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力をおおむね養っている。	左記の求められる基準に達していない。
③ 主体的に 学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っているか。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度をおおむね養っている。	左記の求められる基準に達していない。

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
現代社会 と健康	1 健康の考え方と成り立ち	2	○			現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 (ア) 健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることが理解できる。 (イ) 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。	単元テスト 及び 学習ノート
	2 私たちの健康のすがた	1	○				
	3 生活習慣病の予防と回復	1	○				
	4 がんの原因と予防	1	○				
	5 がんの治療と回復	2	○				
	6 運動と健康	1	○				
	7 食事と健康	1	○				

	8 休養・睡眠と健康	1	○			その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要であることが理解できる。	
	9 喫煙と健康	1		○		(ウ) 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることが理解できる。	
	10 飲酒と健康	2		○			
	11 薬物乱用と健康	1		○			
	12 精神疾患の特徴	1	○			(エ) 喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることが理解できる。	
	13 精神疾患の予防	2	○				
	前期期末考査	1					
	14 精神疾患からの回復	1	○			(オ) 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることが理解できる。	
	15 現代の感染症	1	○				
	16 感染症の予防	1	○				
	17 性感染症・エイズとその予防	2	○	○			
	18 健康に関する意思決定・行動選択	1	○				
	19 健康に関する環境づくり	1	○				
安全な社会生活	1 事故の現状と発生要因	1	○			安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができる。	単元テスト及び学習ノート
	2 安全な社会の形成	2	○			(ア) 環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動や自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることが理解できる。	
	3 交通における安全	1	○				
	4 応急手当の意義とその基本	2		○	○	(イ) 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることが理解できる。心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うことができる。	
	5 日常的な応急手当	1			○		
	6 心肺蘇生法	2			○		
	学年末考査	1					
	時数合計	35					

令和6年度 教科年間計画

教科	芸術	1年	使用	【教科書】 Tutti+ 音楽Ⅰ
科目	音楽Ⅰ	2単位	教材	【副教材】 高校生のための音楽研究ノート

科目の目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けているか。	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解できている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるか。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することができる。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができるか。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度が養われている。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むことができる。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容 ○歌唱教材 □器楽教材 ◇創作教材 ◎鑑賞教材 ◆知識理解教材	時 数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
クラスの歌 声を響かせ よう	【歌唱】 ○校歌 ○優しいあの子 ○少年時代 ○小さな空 など ◆Review of Basics ①楽譜は音楽を伝えるメッセージ ◆声という大切な楽器 ◆Review of Basics ②音とは何だろう？	6	○	○	○	・様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。(知) ・姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。(技) ・校歌や親しみやすいJ-POPの歌のリズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図を持っている。(思) ・校歌や J-POP の歌の二重唱や二部合唱、自分にとっての音楽の存在を再認識することや音楽を幅広く様々な視点から捉えようとするに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(主)	学習状況の観察 ワークシート 演奏の聴取
日本歌曲を 歌おう	【歌唱】 ○夏の思い出(既習) ◆Review of Basics ③音の高さを表す 5本の線	2	○	○	○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。(知) ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。(技) ・音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図を持っている。(思) ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(主)	学習状況の観察 ワークシート
イタリアの 歌曲や民謡 を歌おう	【歌唱】 ○オーソレミオ ○カーロミオベン	3	○	○	○	・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。(知)	学習状況の観察 ワークシート

	○サンタルチア ◆Review of Basics ④音の長さを表そう ◆Review of Basics ⑤音の強さを表そう					・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体 の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表 している。(技) ・音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚 し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気 を感受しながら、知覚したことと感受した こととの関わりについて考え、自己のイメ ージをもってどのように歌うかについて 思いや意図をもっている。(思) ・イタリア語の言葉の特性や曲にふさわ しい発声で表情豊かに歌うことに関心を もち、音楽活動を楽しみながら主体的・協 働的に歌唱の学習活動に取り組もうとし ている。(主)	ート 演奏の聴 取
アンサンブ ルを楽しも う① ーリズムア ンサンブル	【器楽】 ロクラッピングカル テット第1番 (作曲：長谷部匡俊)	7	○	○	○	・様々な表現形態による器楽表現の特徴 について理解している。(知) ・創意工夫を生かした器楽表現をするた めに必要な他者との調和を意識して演奏 する技能や、表現形態の特徴を生かして演 奏する技能を身に付け、器楽で表してい る。(技) ・リズム及びテクスチャを知覚し、それ らの働きを感受しながら、知覚したことと 感受したこととの関わりについて考え、ど のように演奏するかについて表現意図を もっている。(思) ・リズムアンサンブルを構成する声部の 関わりの変化と曲想の変化との関わり に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習 活動に取り組もうとしている。(主)	学習状況 の観察 ワークシ ート 演奏の聴 取
クラシック ギターの演 奏を楽しも う①	【器楽】 ◆Start Up!Playing the Guitar ○Let it be ○翼をください(弾き 語り)	7	○	○	○	・様々な表現形態による器楽表現の特徴 について理解している。(知) ・創意工夫を生かした器楽表現をするた めに必要な曲にふさわしい奏法、身体 の使い方などの技能を身に付け、器楽で表 している。(技) ・音色、リズム及びテクスチャを知覚 し、それらの働きを感受しながら、知覚し たことと感受したこととの関わりについ て考え、どのように演奏するかについて表 現意図をもっている。(思) ・曲想とギターの音色や奏法との関わり	学習状況 の観察 ワークシ ート 演奏の聴 取

						に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(主)	
混声合唱を美しく響かせよう①	【歌唱】 ○学校祭の全校合唱曲	8	○	○	○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。(知) ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。(技) ・音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもっている。(思) ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(主)	学習状況の観察 演奏の聴取
前期期末考査		1	○	○			

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
クラシックギターの演奏を楽しもう②	【器楽】 □カノンによるギター・エチュード □茶色の小びん ◆Review of Basics ⑥#♭の役割 ◆Review of Basics ⑦拍子とは何だろう？	6	○	○	○	・様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。(知) ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。(技) ・音色、リズム及びテクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。(思) ・曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(主)	学習状況の観察 ワークシート 演奏の聴取
音楽をつくらう	【創作】 ◇音のスケッチ⑥循環コードで音楽をつくらう ◆Review of Basics ⑧わかると便利コードネーム	7	○	○	○	・音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について表したいイメージと関わらせて理解している。(知) ・音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、作曲や編曲をする技能を身に付け、創作で表している。(技)	学習状況の観察 ワークシート 演奏の聴取

	◆コンピュータを活用しよう					・リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。(思) ・音楽をつくることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(主)	
アンサンブルを楽しもう② ートーンチャイム	【器楽】 ☐ 大きな古時計 ☐ Jupiter	6	○	○	○	・様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。(知) ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な他者との調和を意識して演奏する技能や、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。(技) ・リズム及びテクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。(思) ・リズムアンサンブルを構成する声部の関わりの変化と曲想の変化との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(主)	学習状況の観察 ワークシート 演奏の聴取
箏を弾こう	【器楽】 ☐ さくらさくら ☐ 日本わらべうた ◆音楽史と史実	6	○	○	○	・曲想と楽器の音色や奏法との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、わが国や郷土の電灯音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。(知) ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。(技) ・音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴	学習状況の観察 ワークシート 演奏の聴取

						き、自己のイメージをもってどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(思) ・和楽器の表現活動を通して日本の楽器の奏法を学び、音色や奏法の特徴を感じ取ることに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(主)	
コンサート を聴こう	【鑑賞】 ◎3 年生の卒業コンサート	2		○	○	・音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。(思) ・音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施することや、音楽Ⅰの1年間の学習を経て自分自身の音楽に対する考え方がどのように変容したかを考えることに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(主)	ワークシート
混声合唱を 美しく響かせよう②	【歌唱】 ○卒業式の在校生合唱曲	8	○	○	○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。(知) ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。(技) ・音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもっている。(思) ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(主)	学習状況の観察 演奏の聴取
学年末考査							
時数合計		70					

令和6年度 教科年間計画

教科	外国語	1年		【教科書】 All Aboard! English Communication I (東京書籍)
科目	英語コミュニケーション I	4単位	使用教材	【副教材】 ・ All Aboard! English Communication I ワークブック (東京書籍) ・ データベース 4500 完成英単語・熟語 [5th Edition] (桐原書店) ・ Focus on Listening Basic CD 無 (エミル出版)

科目の目標

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
 - (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
 - (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- (高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)より)

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・ 技能	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらについての知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用することができるか。	話し手や書き手の意図、情報などを正しく理解し、語彙・表現・文法を適切に使用している。	話し手や書き手の意図、情報などを概ね理解し、多少の誤りはあるが理解に支障の無い程度の語彙・表現・文法を使用している。	「B」を満たしていない。
②思考力 判断力 表現力	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができるか。	題材について関連する情報なども含めて考察し、自分の意見や気持ちなどを効果的に表現している。	題材について考察し、自分の意見や気持ちなどを表現している。	「B」を満たしていない。
③主体的に 学習に 取り組む 態度	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。	話し手や書き手の意図、情報などを積極的に理解しようとしている。 題材について関連する情報なども含めて考察し、自分の意見や気持ちなどを積極的に伝えようとしている。	話し手や書き手の意図、情報などを理解しようとしている。 題材について考察し、自分の意見や気持ちなどを伝えようとしている。	「B」を満たしていない。

年間授業計画 (計 140 時間)

月	○題材 ●主な教材	配 当 (時)	【学習領域】 ・主な学習内容 ◇テスト等	目標・ねらい	観点ごとの 主な評価の対象 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
4 / 5 / 6	○オリエンテーション	1	・英語コミュニケーションⅠの学習について	・アンケートへの回答を通し、これまでの英語の学習を振り返り、英語コミュニケーションⅠの学習についての見通しをもつ。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価（振り返りのシートなどの記述内容）
	○自己紹介 ●Communication 1	3	【発表/聞く】 ・自分のことについて話す活動	・一連の簡単な語句や文を使って自己紹介ができる	
	○私の朝ごはん ●Lesson 1	12	【やり取り/聞く】 ・過去形	・好きな食べ物について聞いて、内容を理解することができる。	
	○人なつっこい野生動物 ●Lesson 2	12	【やり取り/読む】 ・進行形：(be 動詞 + 動詞の-ing 形)	・基本的な語や言い回しを使って、好きな動物について、簡単に意見交換をすることができる。	
	前期中間単元テスト	1	◇ 考查	・学習内容の定着状況を確認する。	
7 / 8	○笑顔を運ぶ列車 ●Lesson 3	9	【書く/読む】 ・助動詞：can, will	・接続詞 and を用いて、場所への行き方とそこでできることについて書くことができる。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価（振り返りのシートなどの記述内容）
	○道案内 ●Communication 2	1	【やり取り/聞く】 ・地図を用いた道案内	・基本的な語や言い回しを使って道案内ができる。	
	○デートの約束 ●Let's Listen 1	1	【聞く】 ・必要な情報を聞き、それを整理する活動	・友達をサッカーの試合観戦に誘う場面における対話を聞き、概要を理解し、メモを完成することができる。	
	○夢のような絶景 ●Lesson 4	10	【発表/読む】 ・to 不定詞：(to + 動詞の原形)	・行ってみたい場所について、簡単な語や基礎的な句を用いて発表することができる。	
	○人物当てクイズ ●Extra Target 1	1	【やり取り/聞く】 ・接続詞	・「接続詞」を活用して、人物のプロフィールを的確に伝えることができる。	
	○長浜高校水族館部 ●Lesson 5	9	【書く/聞く】 ・動名詞：(動詞の-ing 形)	・将来の夢について、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。	
	前期期末考查	1	◇ 考查	・学習内容の定着状況を確認する。	
9 / 10 / 11	○Hokkaido Study Abroad Program	1	【やり取り/聞く】 ・必要な情報を聞き、それを整理する活動	・留学生が語る母国や家族などについての説明を聞き、概要を理解することができる。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価（振り返りのシートなどの記述内容）
	○フリーマーケットで買い物 ●Let's Listen 2	1	【聞く】 ・必要な情報を聞き、それを整理する活動	・フリーマーケットでの買い物についての話を聞き、概要を理解することができる。	
	○～が…するのを見た ●Extra Target 2	1	【やり取り/聞く】 ・知覚動詞	・「知覚動詞」を活用して、最近見たり聞いたりしたことについて表現する。	
	○奇想天外な浮世絵師 ●Lesson 6	12	【書く・読む】 ・受け身：(be 動詞 + 過去分詞)	・関心のある絵について、内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。	
	○アンネ・フランク ●Lesson 7	12	【発表・聞く】 ・比較表現：(-er) (the -est) (as + 原級 + as)	・前もって関心のある人物について発話することを用意した上で、複数の文で発表をすることができる。	
	後期中間単元テスト	1	◇ 考查	・学習内容の定着状況を確認する。	

月	○題材 ●主な教材	配 当 (時)	【学習領域】 ・主な学習内容 ◇テスト等	目標・ねらい	観点ごとの 主な評価の対象 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
12 / 1 / 2	○ロボットカフェ ●Lesson 8	11	【発表・聞く】 ・現在完了形: 〈have[has]+過去分 詞〉	・人の生活を豊かにするロボットに ついて聞いて、情報や考えなどを理 解したり、概要を捉えることができ る。	①ペーパーテスト等の結 果 ②パフォーマンステスト 及び活動の観察の結果 ③自己評価（振り返りの シートなどの記述内容）
	○乗り換え案内 ●Communication 3	1	【やり取り/聞く】 ・路線図を用いた乗り換 え案内	・電車の乗り換え案内の場面におい てよく使われる表現を用いて、英語 で尋ねたり案内することができる。	
	○海の豊かさを守る ●Lesson 9	11	【やり取り/読む】 ・名詞を後ろから説明す る分詞	・環境を守るためにできることにつ いて、基本的な語や言い回しを使っ て簡単に意見交換をすることができ る。	
	○海の向こうからの贈り物 ●Lesson 10	11	【やり取り/聞く】 ・関係代名詞: who, which	・海外の文化や社会に対する理解を 深める活動について聞いて、内容を 理解することができる。	
	学年末考査	1	◇考査	・学習内容の定着状況を確認する。	
3	○ Short Stories in English ●Reading 1	8	【読む】 ・ショートストーリーを 読む活動。	・登場人物の気持ちを考えながら読 むことができる。	①ペーパーテスト等の結 果 ②パフォーマンステスト 及び活動の観察の結果 ③自己評価（振り返りの シートなどの記述内容）
	○ The Wizard of Oz ●Reading 2	8	【読む】 ・The Wizard of Oz を 読む活動。	・主人公のドロシーを中心に、登場 人物の気持ちを考えながら読むこと ができる。	

令和6年度 教科年間計画

教科	情報	1年	使用 教材	【教科書】 図説情報Ⅰ（実教出版）
科目	情報Ⅰ	2単位		【副教材】 図説情報Ⅰ学習ノート（実教出版） 実技で学ぶ情報モラル（日本情報処理検定協会） プログラミング技能3・4級編（日本情報処理検定協会）

科目の目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、関連する技能を説明できる程度に確実に身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	「B」の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ工夫して考え、判断し、効果的に表現している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	「B」の求められる基準に達していない。
③主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自己の学習を振り返り、修正点や新たな気づきを提示し、学習の自己調整をしようとしているなど、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。	「B」の求められる基準に達していない。

授業計画（評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度）

単元名	学習内容	時数	内容の評価 の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
オリエンテーション	オリエンテーション	1				・中学校までの生徒の知識・技能・経験などの調査を行う。 ・コンピュータの起動や終了方法を習得する。 ・自己紹介などの文章を作成し、保存する実習を行うことで、必要な操作を習得する。 ・コンピュータ教室でのマナーを理解する。	
情報社会と私たち	今までの情報技術とこれからの情報技術	3	○	○	○	・データと情報の違いについて理解し、事例をあげて説明することができる。 ・情報化の光と影について理解した上で、ネット依存など個人に与えている影響に対して考え、適切な判断することができる。 ・情報社会における様々な問題点を理解した上で、情報モラルについて考え、自らの行動を振り返り、改善しようとしている。	小テスト
情報社会と問題解決	問題解決	3	○	○	○	・問題や問題解決の意味、問題解決の基本的な手順について理解している。 ・問題解決の身近な事例に対し、問題の構成要素の把握や制約条件の整理を行い、目標の設定を考えて表で表現することができる。 ・収集した情報を整理し、情報を効果的に分析するための適切な資料を作成し、考察することができる。 ・関心・意欲をもって、収集した情報の整理・分析などを行い、主体的に問題解決に取り組んでいる。	小テスト グループワーク
	情報社会における法規と制度	4	○	○		・個人情報やプライバシーの概念を理解し、個人情報の保護や管理について理解している。 ・著作権法の権利制限規定の意義について考え、討議することができる。	小テスト
	情報セキュリティと個人が行う対策	3	○	○	○	・個人が行うセキュリティ対策である認証の考え方や管理について理解している。 ・具体的な例について、その認証方法のメリットとデメリットについて説明できる。 ・大切な情報を守るための認証の利用など、情報セキュリティ技術に興味・関心をもって取り組んでいる。	小テスト
コミュニケーション	メディア	1	○	○	○	・メディアリテラシーの考え方や情報の信憑性について理解している。	小テスト

シ ョ ン と 情 報 デ ザ イ ン					・収集した情報を、別のメディアと比較するなどし、正しい情報かどうかを判断することができる。 ・メディアから提供された情報を主体的に読み解こうとする態度を身に付けている。	
	コミュニケーション	2	○	○	・技術の進展によるコミュニケーションの手段の変化について理解している。 ・インターネットを利用したコミュニケーションについて、対面の場合と比較し、気を付けるべき点について説明することができる。	小テスト
	情報デザインと表現の工夫	2	○	○	・情報をわかりやすく伝えるために、文字、色や配色、図やイラストなどの基本的な表現方法を理解している。 ・情報伝達の目的や対象を考え、文章を視覚化したり、レイアウトを工夫したりして表現することができる。	小テスト
	コンテンツの制作	5	○	○	○ ・論理的に情報を伝えるための論理展開の方法について理解している。 ・伝えたい内容が同じでも、伝える順序によって受け手の印象が変わることを理解し、コンテンツの構成について考察することができる。 ・個人やグループで作成したプレゼンテーション資料や報告書に対し、自己評価や相互評価を行い、フィードバックを行って改善しようとしている。	小テスト グループワーク
情 報 と コ ン ピ ユ ー タ	情報の表し方	3	○	○	・アナログとデジタルのそれぞれ特徴や違いを理解している。 ・アナログデータとデジタルデータの比較し、その違いについて説明することができる。	小テスト
	コンピュータでのデジタル表現	7	○	○	・コンピュータ内部の数値表現方法である2進数から、10進数や16進数へ相互に変換する方法を理解している。 ・音やデジタル化（標本化、量子化、符号化）の仕組みについて理解している。 ・画像のデジタル化（標本化、量子化、符号化）の仕組みについて理解している。 ・動画の表現方法とデータの圧縮方法について理解している。 ・2進数、10進数、16進数を用いて、目的に応じて適切に表現することができる。 ・アナログの音をデジタル化する場合の、標本周期や標本周波数について、音質とデータ量の	小テスト

					大きさを関連付けて説明することができる。 ・画像の解像度や諧調を用いて、画像の鮮明さについて説明することができる。 ・音声、画像、動画の主なファイルについて、データ圧縮との関連も含めて、その特徴や内容を説明することができる。	
	情報機器とコンピュータ	2	○		○ ・ハードウェア、それを動かすソフトウェア、さらに、OS とアプリケーションソフトウェアの関係を理解している。 ・ハードウェアとソフトウェアの学習に、興味・関心をもって取り組んでいる。	小テスト
アルゴリズムとプログラミング	アルゴリズムと基本構造	3	○	○	○ ・アルゴリズムの基本とプログラムの意味を理解している。 ・問題解決のためにアルゴリズムを活用する際の手順について説明することができる。 ・作成したフローチャートが正しいかどうか、わかりやすくするなど改善の余地がないかなど考え、繰り返し取り組んでいる。	小テスト
	プログラムの基礎	4	○	○	○ ・プログラミング言語を用いたプログラムの作成について理解している。 ・作成したプログラムが正しいかどうかを考察し、修正することができる。 ・プログラムに間違いがあった際にも、繰り返し粘り強く、プログラムの改善に取り組もうとしている。	小テスト
	プログラムの応用	5	○	○	○ ・探索や並べ替えのアルゴリズムの概念を理解している。 ・探索（線形探索、二分探索）のアルゴリズムの効率について、考えることができる。 ・問題解決のためにアルゴリズムを考え、効率的なプログラムを粘り強く作成したプログラムについて、自己評価および相互評価を行い、効率的なプログラムの改善に取り組んでいる。	小テスト
モデル化とデータの活用	モデル化	2	○	○	○ ・図的モデルのさまざまな表現方法（ブロック線図、状態遷移図、アクティビティ図）について理解している。 ・簡単な自動販売機の動作をモデル化し、状態遷移図で表現することができる。 ・身のまわりものから図的モデルを作成する学習などに積極的に取り組み、自己評価および相互評価を行い、モデルを改善しようとしている。	小テスト

	シミュレーション	4	○	○	○	・簡単な確率的モデルのモデル化やシミュレーションの手順を理解している。 ・確率的モデルについて、表計算ソフトウェアの乱数を用いてシミュレーションを行い、その結果から考察することができる。 ・表計算ソフトウェアやプログラミング言語を利用した確率的モデルのシミュレーション実習において、意欲的に粘り強く取り組んでいる。	小テスト
	データの活用	4	○	○	○	・表計算ソフトウェアを利用して、散布図や箱ひげ図を作成することができる。 ・身近な数値データの散布図から相関係数を求めて、データの関連性について考察することができる。 ・分散や標準偏差をはじめ統計的な用語の概念について、具体的な数値データをもとに理解しようとしている。	小テスト
ネットワークと情報システム	ネットワークの仕組み	4	○	○		・インターネット通信の規約である TCP/IP やパケットの流れについて理解している ・インターネットのプロトコル (TCP/IP) について、各階層の役割について、電話などの例をあげて説明することができる。	小テスト
	情報システムとサービス	5	○	○		・身のまわりの情報システムの例やサービスの概要を理解している。 ・インターネットで活用できる情報システムの例をあげて、提供する情報と受けたサービスについて考察することができる。	小テスト
	情報セキュリティ	3	○	○	○	・情報の安全を守るための情報セキュリティの意味と重要性を理解している。 ・情報セキュリティの3要素(機密性、安全性、可用性)とそれぞれの脅威や対策について説明することができる。	小テスト
時数合計		70					